

氷見市長

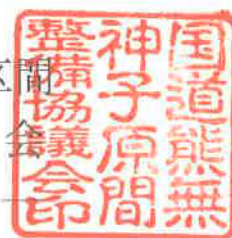
本 川 祐 治 郎 様

要 望 書



平成28年 9月30日

国道415号 熊無 神子原 区間
整備計画策定推進協議会
会長 堂田幸一



氷見市熊無地区 自治会
会長 内 毅



氷見市論田地区 自治会
会長 堂田 茂



要 望 事 項

国道 415 号線

熊無・神子原 区間 整備計画の策定について

H28-045-001

国道 415 号線は、富山・金沢から能登方面へ走る東西 2 本の高速道路『能越自動車道路』と『のと里山海道』を能登半島根幹部の最短距離を結ぶことにより、産業・経済の交流拠点として活性化を担うと共に、志賀原発の避難路としても重要な道路であります。

このため、氷見インターチェンジから千里浜インターチェンジ区間を結ぶ約 20 km の内、石川県羽咋市側 7.4 km 富山県氷見市側 4.2 km の区間が事業認可され現在も整備が進められています。

しかしながら、当路線一番の難所であります熊無から神子原区間約 6.7km がまったく手付かずのままであります。

特に、熊無地区中ほどから県境に至る約 2.1 km に付いては急勾配・急カーブの連続で、冬期間には大型タンクローリーの圧雪立ち往生やスリップ横転による事故渋滞、さらには他車との接触はもとよりガードレールや民家への激突等の事故が頻発しています。

つきましては、これらの状況を踏まえ残された 6.7km について現道の整備のみならず、熊無地区から論田地区そして石川県菅池地区を通り神子原地区に至る、高低差について考慮された安心安全なバイパス案も含め、沿線住民の長年の悲願であります夢のある整備計画の早期策定に格別のご配慮をお願い致します。

千里



国道415号 位置図



スノーシェッド 下り入口

スノーシェッド 上り入口

危険な急勾配・急カーブ

整備完成区間

